

平成30年度第2回放課後子どもプラン運営委員会

日 時 平成30年7月3日(火) 午前10:00から11:30

場 所 小金井市役所第二庁舎801会議室

出席者 田中委員長、浦野副委員長、石原委員、志波委員、佐野委員、多田委員、大久保委員、本川委員、小林委員、水谷委員、黒田委員、鈴木委員

関生涯学習課長、菊池図書館長、西村公民館長、浜田指導室長、鈴木児童青少年課長

富沢コーディネーター、伊藤コーディネーター、小岩コーディネーター、古源コーディネーター、森田コーディネーター、西田コーディネーター、吉田コーディネーター、伊野コーディネーター

小堀生涯学習係長、吉楽生涯学習係主任

欠席者 三浦庶務課長、梶野子育て支援課長

傍聴者 なし

1 議事

(1) 各小学校区の報告について

【三小】おやじの会と色々調整している。

【本町小】放課後図書室で今週から学芸大の学習支援プロジェクト「CCSS」と連携する。学生が毎回5～10人位、勉強を見たり、工作や遊びをする。

【緑小】緑児童館が空調工事を予定しており、児童館職員と子どもの居場所対策を考えている。

【副実行委員長】実行委員会報告。第1回目は5月8日開催。議題は実行委員長、副委員長の決定、平成30年度予算の調整等。第2回は6月19日開催。議題は3校の協議会報告等。第3回は7月17日開催予定。

【委員】三小おやじの会について実行委員会で話しあったのか。

【委員長】実行委員会でも十分検討している。

【委員】まずは良く事情を知っている委員長、副委員長、三小コーディネーター等の関係者少人数で議論したほうがいいのではないか。

【委員長】三小コーディネーターはかなり努力している。その中で相談を受けたことは対応している。時間をかけ、人間関係等も配慮しながら、見守っているのが実行委員会の現状。ただコーディネーターは絶対に孤立させない。ボランティアでやっている中で、9校揃えて事業展開するのは難しい。それらを配慮しながら進めている。

(2) 放課後子ども教室の進捗状況について(資料2に沿って説明)

【事務局】今年度分は昨日まで申請があったものを反映した。5月までの数値を比較すると、概ね29年度と今年度はほぼ同じ状況である。

【副委員長】実行委員会預かり団体について、昨年度は8月までに18回実施されているが、今年はまだ実施されていない。何か理由があるか。

【事務局】実行委員会預かり団体から活動報告書はまだ出されていない。

【委員】9小学校区は放課後子ども教室実施予定を出しているが、実行委員会預

かり団体は予定表に記載されていない。元々実施予定がないのか。

【事務局】 レッツ以外、教室開催予定についての連絡はない。

(3) 協議会の報告について（事務局）

① 平成30年度第1回小金井市第三小学校区放課後子ども総合プラン協議会

日時：平成30年5月17日（木）、午前11時30分～12時30分

場所：あかね学童内

出席者：副校長、生活指導主任、冒頭のみ校長。あかね学童指導員2名、放課後子ども教室コーディネーター、スタッフ。児童青少年課長、主任。生涯学習課長、主任。

内容：協議会委員の委嘱状配布。出席者あいさつ。座長及び副座長の選出（座長は関生涯学習課長、副座長は鈴木児童青少年課長が選出された）。各関係者のスケジュールや学校の余裕教室等報告について。現状・課題・意見交換等。

② 平成30年度第1回小金井市東小学校区放課後子ども総合プラン協議会

日時：平成30年5月23日（水） 午前11時～12時

場所：東小学校会議室

参加者：校長先生、副校長先生。たまむし学童指導員。放課後子ども教室コーディネーター、スタッフ。児童青少年課長、主任。生涯学習課長、主任。

内容：協議会委員の委嘱状配布。出席者あいさつ。座長及び副座長の選出（座長は関生涯学習課長、副座長は鈴木児童青少年課長が選出された）。各関係者のスケジュールや学校の余裕教室等報告について。現状・課題・意見交換等。

③ 平成30年度第1回小金井市前原小学校区放課後子ども総合プラン協議会

日時：平成30年5月29日（火） 午前11時～12時

場所：前原小学校けやきルーム

参加者：副校長先生。まえはら学童指導員。放課後子ども教室コーディネーター、スタッフ。児童青少年課長、主任。生涯学習課長、主任。

内容：協議会委員の委嘱状配布。出席者あいさつ。座長及び副座長の選出（座長は関生涯学習課長、副座長は鈴木児童青少年課長が選出された）。各関係者のスケジュールや学校の余裕教室等報告について。現状・課題・意見交換等。

3校の協議会に出て感じたことは、どの学校、学童も児童数が増え、本当に余裕教室が切迫している。放課後子ども教室、学童からは、連携を取る際には、細心の注意を払いながら児童と保護者に接している。放課後子ども教室への参加の仕方や連携面など、運営方法は小学校区によって色々異なる点があり、実際に3者で話し合うと初めて聞くような話題が沢山出て、非常に有意義な会議だった。事務局としては、各関係者の参加しやすい時間が大体把握できたことや、会議に必要な準備工程をまとめられたこと、また、今まで放課後子ども教室の関係者だけで会議をしていたのが、今回初めて各小学校区の学校・学童各関係者から具体的なお話を直接聞くことができ、今後の連携に非常に役立つと感じた。今後は7月に本町小で第1回協議会を行い、10月に3校でそれぞれ第2回協議会を行う予定で、既に日程調整も済んでいる。

【委員】参考として協議会の議事録を配布していただけないか。

【事務局】協議会の情報共有は必要かと思うが、今後は議事録の扱いを検討する。

(4) その他

【事務局】資料(3)として、放課後子ども教室予定表を配布した。運営委員には各放課後子ども教室の見学に行っていたきたい。見学に行く場合は、事前に連絡を頂きたい。また平成30年度第1回放課後子どもプラン運営委員会会議録を配布した。事前に関係者の修正意見を反映したので、これで了承を頂ければホームページで公開する。

【委員】環境格差について、それぞれの学校区の共通点や違いをピックアップして、運営委員会で議論できないか。9小学校区でそれぞれやり方は違うが、余裕教室不足、スタッフ不足、場所的な有利不利等、運営委員会で9校の格差を確認し、解決すべきではないか。同じ小金井市の子どもなので、出来るだけ均等にすべきではないか。運営委員会では図書館や児童館の関係者が参加し、更に大きな視点で考えることが出来るのではないか。また中学校問題について、小金井市では一中と緑中だけやっていて、新たにやりたい中学校区はどうするのか等、長年懸案事項として残っている。その点はどうするのか。

【事務局】中学校区はまだ生涯学習課で方針が定まっていない。

【委員長】余裕教室や児童数等規模が違うが、それぞれ置かれた環境の中で、この放課後活動をどう展開するか、お互い知恵を絞っていく。今後は地域の子ども全体を見るのが新しい方針なので、それぞれの学校区がどう対応するのが重要となる。中学校問題は方向を教育委員会で決めないとどうにもならない。

【委員】三小について、運営委員会で話せないか。

【委員】コーディネーターが孤立した形は望ましくない。今後更に、担当や団体含め、調整したい。

【委員】コーディネーターがいつでも相談できるよう、周りにバリアを作らなければいけない。

【委員長】皆で協力して、放課後子どもプランを軌道に乗せるよう努力したい。

【委員】放課後子ども教室は、協力してもらえる団体をとにかく呼び込んで立ち上げた。その後放課後子ども教室運営の手引きという基本的な方針が示され、それに基づいて各学校区で運営している。小金井市放課後子ども教室はこういうものだ、行政がきちんと言うことが大事。それをきちんと示すことができるかどうかは、行政の手腕。

【事務局】行政の指針を理解できない団体は是正するよう事務局として努める。

【コーディネーター】中学校区について。私は二中で活動しており、放課後子ども教室で認めてもらうのを待っているの、活動報告をする。1学期は放課後学習教室を6回開催予定で、10人以上の生徒が参加し、学芸大の学生が7~8人来て、生徒の学習指導をしている。7月18日はお楽しみ会を計画し、学生と生

徒のコミュニケーションを取って今後の参加に繋げていこうと考えている。

【委員長】行政にはできるだけ早く中学校問題の方向性を打ち出してほしい。

【委員】先ほど協議会報告で、放課後子ども教室に行く予定の学童児童が突然学童に登所したり、また逆だったり、出欠確認で1時間かかることがあるということだが、他の学校区でも共通課題となる。生涯学習課で方向性を示してほしい。

【委員】学童保育児と放課後子ども教室の行き来について、協議会の後で学童保育所と放課後子ども教室との間で、一旦登所し、放課後子ども教室に参加し、そして学童に戻るといような、統一ルールを作る話し合いを進めている。学校とも調整し、2学期からその方向で行く予定で、実行委員会で報告済。その状況を各校でそれぞれ対応予定。